

平成17年
(2005)



喜界時報

8

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No. 458



まつりだ！ ワッショイ



写真撮影 = 松本雄次さん(湾)

~夏まつりミコシパレード~



今月の紙面

- | | | | |
|------|----------------------------------|--------|----------------------------|
| 2~3面 | 第24回喜界町夏まつり | 8~10面 | まちの話題/保健師だより/顔 |
| 4面 | 水質浄化センター通水式/7月子牛セリ市 | 11~13面 | お知らせ/海の贈り物/あの日あそこ/島の食材紹介ほか |
| 5面 | 奄美ミュージアム人材育成講座/明日を担う女性の集い | 14面 | 教育委員会のとびら |
| 6面 | 町初のマンゴー品評会/第4回全国喜界会連合会総会/国民年金だより | 15面 | わが家のアイドル/喜界歌壇/戸籍の窓ほか |
| 7面 | 平成17年度施政方針項目別主要施策抜粋 | 16面 | 「夏まつり」スナップ |

第24回喜界町夏まつり

思い思いに夏の夜 楽しむ

～ 締めは1,900発の花火～

フニーカー競漕一般はくろちゅうA優勝

第二十四回喜界町夏まつり（夏まつり協賛会主催）加藤啓雄会長）は八月六・七の両日、湾赤連商店街・湾漁港をメイン会場に行われた。初日は相撲や歩行者天国、二日目はフニーカー競漕や打ち上げ花火などがあり、大勢の町民や帰省客、観光客が思い思いに真夏の夜を楽しんだ。祭りの華・フニーカー競漕はくろちゅうAが自衛隊A、峰山建設Aを抑え優勝、歓喜の美酒を味わった。祭りのフィナーレは千九百発の花火が夜空を焦がし、会場に歓声が上がった。



例年通り相撲大会で幕を開けた今年の夏まつり。大会には小・中学生、一般の八十三人が参加。集落民や職場、家族の大声援を受けて、気迫あふれる取組をみせた。

御輿パレードでは各子ども会のカラフルな手作り御輿が商店街を練り歩く。沿道からは水がまかれ、そのたびに子どもたちの歓声が響いた。続く大綱引きでは赤連方、湾方に分かれ、子どもや大人が力いっぱい大綱を引いた。接戦となったが、今年も赤連方が勝利した。日が傾き涼しい風が心

地よさを運ぶ時刻になると、歩行者天国は涼を求める家族連れや子どもたちで賑わい始めた。提灯や屋台に灯りがともり、祭りの雰囲気も高まる。店々やイベント会場の前にはたくさんの人だかり。大道芸やバンド、島唄、エイサーも祭りに花を添えた。二日目はフニーカー競漕で幕を開けた。四十七チームが参加した今年是一般（手舵）、混成（固定舵）、女子の三部門に分かれてレースを開催。女子の部決勝は大接戦となり、役場レディース、女子バレー、ママさんバレーがほぼ同時にゴール。本部から「優勝、ママさんバレー」のアナ

ウンスがあると、船上の選手たちは權をあげて喜びを爆発させた。

混成の部は三十九年生辰巳会、生和糖業キビ増産、高岡建設が勝ち進み、鼻差で辰巳会を抑え、生和糖業が混成の部を制した。

一般の部決勝には、くろちゅうA、自衛隊A、峰山建設Aが進出。序盤はほぼ互角となったが、中盤徐々に差を広げ折り返し後に抜け出したくろちゅうAが二位以下に一艇身の差をつけ、十九年ぶりの優勝を果たした。

夕刻、艶やかな婦人会の踊り連がメイン会場へ続く通りを埋め、日中の暑さが残る会場に踊り連のうちの舞いが涼しさを運んだ。

今年の八月踊りは川嶺集落。テイクーを先導にゆつくりと入場する儀式・ホーテーマーターで輪を作り、セラハなど数曲の八月踊りを観客に披露した。

日が大島本島に沈むころ、歌謡ショーが始まり、川畑さおりさん、久永さとみさんが島唄、新民謡、オリジナル曲を情感たっぷりな歌い上げ、会場の拍手を誘った。祭りの締めは千九百発の花



川嶺集落の八月踊り
(ホーテーマーター)



迫力満点の水中花火
婦人会踊り連



元気なかけ声が沿道に響く
ミコシパレード



火。防波堤から勢いよく吹き上げる中国花火や観客席近くまで迫る水中花火、見上げるほど高く打ち上げられた花火が夜空に大輪の花を咲かせるたびに、観客から歓声や拍手が上がった。



歌謡ショー(川畑さおりさん)
歌謡ショー(土岐兄弟)



- すもう結果**
- 【団体】 小学校〃 荒木 A
志戸桶 湾 A 中学校〃
湾 B 湾 A 志戸桶 A 一
般〃 上嘉鉄青年団 荒木
栄建設
 - 【個人】 小学校 4年〃 初
遊太 岩川武蔵 朝日郁弥
小学校 5年〃 加藤久史 西
皓生 村上翼 小学校 6年〃
玉智哉 岡佑樹 増田隆司
中学校 1年〃 我原太清
龍田勇樹 梅龍飛 中学校 2
年〃 栄耕介 鮫島諒 大山
祐平 中学校 3年〃 三田美
雄大 南山皓也 向田大也
一般〃 柳常博 廣清太 岩
崎文敏
 - フニッカー競漕
 - 【一般】 くらちゅう A 峰
山建設 A 自衛隊 A
 - 【混成】 生和糖業キビ増産
39年生辰巳会 高岡建設
 - 【女子】 ママさんバレー
女子バレー 役場レディース



漁船パレード

祭りに欠かせない
安田民謡教室生



生活環境保全へ

下水道整備本格化

水質浄化センター通水式

公共下水道処理施設「喜界水質浄化センター」の通水式が七月二十日、赤連の同センター内であり、町関係者ら約八十人が出席。関係者のテープカットで住環境整備に必要不可欠な水質浄化センターの完成を祝った。同施設は平成十二年度から工事に着手、今年三月には一部供用を開始している。

課題は(促進加入 汚泥処理



テープカットで通水を祝う関係者

着手した。今年三月には浄化センターの設備工事も完成し、赤連地区の約四一％で一部供用を開始した。

全体の処理区域計画面積は湾、赤連、中里、池治集落の一七〇畝、処理人口四千八百人、全体事業費は六十七億四千二百万円を見込

公共下水道事業は公共用水域の水質保全と生活環境の改善を目的に平成十一年度事業認可を受け、平成十二年度に函渠工事、平成十四年度には水質浄化センターの建設に

み、期間は平成二十八年度までを予定している。平成十六年度までに水質浄化センターや汚水管一・二キロメートルが完成した。

汚水処理能力は千三百立方メートル。将来は処理施設を増設し、現在の二倍の二千六百立方メートルに高め、処理量の増加に対応する。水質浄化センターの汚水処理方法は、オキシジェン・デイズ法を採用、微生物の働きや消毒殺菌により汚水を浄化し海に放流する。

式典で加藤啓雄町長は「下水道は地域の住民が豊かな生活をおくるための基幹施設。地域住民と協力しながら機動的かつ弾力的な施策を講じ、効率的な運営を目指したい」と式辞を述べた。

また、徳田虎雄衆議院議員（代読）は「施設の完成は、生活環境の改善だけでなく、奄美の美しい海を守るうえで重要。私も快適な環境づくりのため国政の場で全力投球していく」、乾和夫喜界町議会議長は「現代は環境に配慮する時代。高齢者の負担増に配慮しながら、島の自然を次の世代に残していくために備と加入の徹底が待たれる」

と述べ、国土交通省九州地方整備局宮田年耕局長（代読）、上園淳大島支庁長もそれぞれ祝辞を述べた。

続いて加藤町長や永井章義県議らがテープカットを行い施設の完成を祝うとともに稼働電源のスイッチを入れ、本

最高値60万超の高値相場

7月子牛セリ市



十六頭が売却された。雌の最高価格は五十三万三千円、去勢は六十万千円の高値となった。関係者の話では六十万円を超えたのは、「約十年ぶり」という。総売上金額は七千二百七十二万六千円。

JA鹿児島県経済連名瀬駐在によると、「例年七月は肉牛の出荷時期を反映して相場は弱含みの推移となるが、いまだ堅調な枝肉相場の値動きに牽引され、前回相場を上回る結果となった」と分析。

七月子牛セリ市が七月十五日、家畜セリ市場であった。好調な取引を反映して六十万円を超える取引もあり、前回に引き続き高値相場となった。

喜界セリ市には雌九十六頭、去勢九十二頭の合計百八十八頭が出品され、うち百七

格的な下水道処理施設の稼働がスタートした。

平成十六年度までの総事業費は二十五億五千七百万円。今年度は赤連、湾地区の汚水管敷設を継続するとともに、浄化センター施設内に汚泥処理棟を建設する。

今後の動向については「素牛高や米国産牛肉の輸入再開如何による枝肉相場の先行き不透明感から、厳しさを増すことも予想される」として「粗飼料主体で飼養した腹づくりのしっかりした無駄な脂の付着していない牛づくりを」と呼び掛けている。



島唄、戦争と平和を学ぶ

菅沼さんは「島唄は私の生き甲斐。好きで好きでたまらない。メロディも魅力、哀愁がある」と語り、「島唄は唄半学」といい学問を学ぶことと同じ。島唄の歌詞のおりの生き方ができれば、人間としての生き方ができる」と、歌詞を説明し、島唄を実際に歌った。

島唄の地域性については「ひぎや節は節回しが長く、かさん節は節回しが短い。きかい唄はかさん節とやや似ており節回しが短めで勢いがあり、人を引きつける」と数曲を披露した。

また三年前、「喜界島には喜界島の島唄を」と、上嘉鉄の田中働助さんと田中三味線島唄同好会を立ち上げ、島唄、方言継承にも力を入れている。

服部さんは元海軍整備兵・宮原清三さん(島中)とともに制作した「宮原清三回録」の「幻の喜界島上陸作戦」を上映。戦時中、海軍特攻隊の中心基地が置かれた島の様子や終戦間近、米軍が計画していた喜界島上陸作戦「アイスバ

グ作戦」についてビデオで

説明。戦後六十年の節目に戦争の悲惨さを改めて訴えるとともに、恒久平和への願いを新たにしたい。

人材育成講座には町民六十人が登録。今回の講座には三十人が参加した。第三回目の

女性の発想と団結呼びかける

明日を担う女性の集いin喜界島2005

講座は九月十七日「喜界島地域の生物」「奄美に伝わる源平合戦」が予定されている。また、九月十八日には草木染めの体験学習も行われる。詳しくは役場企画課(担当「富田」)へ。



明日を担う女性の集いin喜界島2005(喜界町認定・担い手農業者連絡協議会婦人部会)が七月三十日、自然休

養村管理センターであった。女性の集いは認定・担い手農業者連絡協議会婦人部、生活研究グループ、地域婦人会、

農業者連絡協議会婦人部、生活研究グループ、地域婦人会、

七回目の開催となる今年、この企画の発起人で元九州農政局喜界農業水利事業所所長・井敏春氏を講師に招き「喜界島農業の更なる飛躍への期待」と題した島興しへの助言に耳を傾けた。

主催者を代表して栄会長があいさつ。「自分に何ができるかを考える時代。一人ひとり小さくてもみんなを取り組めば大きな力になるはず」と女性の発想と団結を呼びかけ、加藤啓雄町長は「この取り組みが町発展の起爆剤となることを期待している」と語

った。

井氏は「儲かるためには消費者の気持ちになることが必要。不満、苦情にすぐに対応することが固定客の獲得につながる」、「今後は商品のブランド化が必要。安いから買うのではなく、高くて品質が良ければ売れる。ゴマ、黒砂糖、花良治ミカン、島ミカンの付加価値を高め、儲かる農業を」と述べ、「全ての人が力を合わせ、あわてずしっかりと前向きに島を築き上げてほしい。必ずできる」とエールを送った。

奄美ミュージアム人材育成講座

奄美ミュージアム人材育成事業(自然・文化インストラクター養成塾)第二回喜界島地区講座が七月二十三日、中央公民館旧館ホールであり、菅沼節枝さん(志戸桶)、服部晃さん(花良治)の二人が講師を務めた。菅沼さんは「島唄の魅力(ひぎや・かさん・きかい唄の違い)、服部さんは「映像から見る喜界島戦争と平和」と題して、語り受け継がなければならぬ島の文化、歴史について語った。

夏の省エネキャンペーン

7月1日～9月30日

夏はエネルギー消費が大きなピークを迎える季節です。地球温暖化防止と燃料資源の有効利用の点等から、省エネルギーを推進していく必要があります。

資源エネルギー庁

二玉の部とも野島さん最優秀賞



町初のマンゴー品評会開く

袋かけのタイミングに注意し色の濃いネット被覆は避け、色の薄いネット等で遮光し着色する。水をかければ糖度もあがるので、地下ダムの水を利用して水管理の徹底を」と、

さらなる品質向上を期待した。夏の贈答用として人気の高いマンゴー。会場には甘い香りが漂っていた。

審査結果
【2玉入りの部】 最優秀賞 野島久芳・優秀賞 森三磨
【3玉入りの部】 最優秀賞 野島久芳・優秀賞 高岡農園

年々技術が向上

甘い果肉で夏の味覚として人気の高い喜界島マンゴーの初の品評会が八月九日、営農支援センターであり、五農家が出品した。

現在、マンゴーは十六戸が栽培、栽培面積は約三ヘクタールで今年度は昨年度と比べ三割増の十五トンを見込んでいます。

審査の結果、二玉入りの部、三玉入りの部ともに野島久芳さん（小野津）が最優秀賞に選ばれた。

鹿児島県試験場大島支場亜熱帯研究室長の松島健一氏は「生産技術は年々向上している。課題は、着色と水管理。」

160人が旧交温める
第4回全国喜界会連合会総会



会に感謝している。郷友会と一体となつて潤いのある町をつくりたい、乾和夫町議会議長は「それぞれの地域で活躍され、島に生きる者として心強い」と歓迎した。

第四回全国喜界会連合会総会（中原茂太会長）並びに交流会が八月六日、自然休養村管理センターで行われた。島外から五十人、島内から百六十人が参加し、旧交を温めた。

県議会議員（上嘉鉄出身）の計らいで出席。伊是名の実家が喜界馬を飼っていたエピソードを紹介した。

会長を務める中原茂太氏（沖縄県・湾出身）は「わが古里を守っていることに感謝している」と述べ、加藤啓雄町長は「島との懸け橋、郷友

交流会では島唄や志戸桶十五夜会の八月踊りもあり、会場はにぎわった。締めめの六調にも多くの人々が参加、盛り上がった。総会は二年に一度島で行われている。

国民年金だより

年金受給者の皆さん、届け出忘れはありませんか？届け出忘れがあると、年金の大事なお知らせが届かなかったり、年金の受け取りが遅くなったりすることがあります。

住所が変わったとき

「住所変更届」を社会保険事務所へ提出してください。

地番の変更の場合も届け出が必要です。

年金を受け取る金融機関や口座を変えたとき

「支払機関変更届」を社会保険事務所へ提出してください。

変更の手続きが完了するまでに若干の時間がかかるため、これまで使っていた口座に再度振り込まれてしまうことがあります。このときにその口座が解約されていると、年金の振込みができず、新しい口座に振り込まれるまでに相当の日数がかかります。新しい口座に年金が振り込まれるのを確認するまで、これまで使っていた口座は解約しないでください。

複数の年金（例えば「老齢基礎年金と遺族厚生年金」など）を受けている方が住所変更を行う場合は、ひとつの年金の届け出で他の年金の住所についても変更します。ただし、共済組合から支給される年金については、共済組合へも届け出が必要になります。（共済組合の場合は様式が異なりますので、各共済組合へお問い合わせください）

なお、金融機関や口座の変更がある場合には、それぞれの年金について届け出が必要になります。お住まいの市役所・町村役場で申請してください。

平成17年度施政方針項目別主要施策抜粋

4

学校教育

わが国においては「国家百年の計」である教育を国政上の重要課題と捉え、新しい時代を切り拓く心豊かでたくましい日本人の育成をめざし様々な教育改革が進められております。こうした国の方針に基づき策定した県教育行政の基本目標「あしたをひらく心豊かな人づくり」の実現に向けて、学校教育においては、

心の教育の充実

生命や人権を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、郷土を愛する心など道徳性を備えた児童生徒の育成をめざした取り組みの更なる充実に努めます。また、問題を抱える子どもや保護者の相談にいつでも対応できるように、「教育相談員」を継続して配置いたします。

体力・運動能力の向上

本町に於いては、平成16年度に文部科学省から「子ども体力向上実践事業」の委嘱を受けて取り組んでおります。

確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を重点目標に掲げ、学校と家庭、地域が一体となって、それぞれの教育機能を発揮し取り組んでいけるよう全力を尽くし努力してまいります。

学力水準の向上

基礎・基本の確かな定着や自ら学ぶ意欲と学ぶ力を身に付けさせるために、各学級の特色を生かし、習熟度別学習や発展的学習、補充指導など個に応じたきめ細かな指導が各学校で実践できるよう指導の強化に努めます。

泊研修を継続して実施してまいります。

「食農教育」の充実

農業の島である「喜界島」の島興しに貢献できる人材の育成をめざし、農林水産業・農山漁村の役割、食の楽しさや大切さについて理解を深めるために、生産活動体験、施設見学、調理加工体験学習など「食農教育」の更なる充実支援に努めます。

中・高一貫教育の推進

6年間の計画的・継続的な特色ある教育活動「中・高の交流授業」や特色ある教科「きかい学」の展開、異年齢集団による教科外活動等を通して、郷土を愛し、自ら人生を切り拓く児童・生徒の育成をめざし、中・高一貫教育の更なる充実に努めます。

幼児教育の充実

これまで同様、異年齢で編成する学級に11名以上の園児が在籍する場合、補助職員を配置、下校後、面倒を見る人がいない家庭の事情を考慮した「預かり保育」を実施するなど、幼児教育の充実と保護者への支援ををめざした取り組みを継続してまいります。

組みを継続してまいります。

奨学金制度の活用・促進

能力があるにも関わらず経済的な理由による進学困難な者の支援や地域社会の発展に役立つ人材を育成するために一定の条件を付して学資を貸与する町奨学資金貸与制度やその他の奨学金制度の活用・促進に努めます。

小規模校の活性化

小規模校同士の交流学習や規模の大きな学校への体験学習が円滑に推進できるよう支援に努めます。

また、恵まれた自然環境の中で少人数校の特色を生かした教育を受けさせたいという保護者や受けたいという児童の願いをかなえたり過疎地域の活性化を図るために、「小規模校入学特別認可制度」を継続して実施いたします。

教職員の意識改革と資質の向上

教育改革実現の鍵を握っているのは、直接、児童・生徒に接し指導に当たる教師であります。従って、教育改革の円滑な実現を図るためには、教師の職責感の高揚と指導力の向上が課題となります。

の向上が課題となります。で、管理職研修や校内研修の充実をめぐり努力してまいります。

開かれた学校づくり

学校における教育効果より高めて行くには、家庭や地域との連携・協力を一層強化していく必要があります。

そのためには、学校が自ら取り組み状況や児童生徒の変容等について評価を行い、その結果を保護者や地域の方々に説明したり、それに基づいた意見を学校運営に生かすなど「開かれた学校づくり」が課題となっておりますので、学校評議員制度や地区サポート委員会の方々のご協力を頂き、更に努力を続けてまいります。

施設の整備

また、老朽化が著しい第二中学校の校舎補修工事を行い、快適な学習環境の整備・充実に努めます。

教員住宅の水洗化についても順次整備し、快適な住環境の整備促進に努めてまいります。

(以下次号)

TOWN まちの 話 題 News

2年ぶりの甲子園 樟南高の佐田・納沢選手



昨年暮れに帰省の際、ガッツ喜界の後輩たちと(最後列左が佐田くん・中央が納沢くん)

第八十七回全国高校野球選手権鹿児島大会決勝が七月二十三日、鹿児島県立球場であ

進んだ。二人は一年の夏、甲子園の土を踏んだが、納沢は最終回に代走、佐田の出番は

り、樟南高校が春選抜大会準優勝の神村学園を逆転で下し、夏の甲子園大会二年ぶりのキップを手にした。

樟南のエース佐田晃久は喜界町佐手久の出身。早町中学校を卒業後、夢の甲子園を目指し、第一中学校の納沢佑介とともに樟南高校へ

なかつた。あれから二年。佐田はエースに成長。決勝の大舞台で選抜準優勝投手、神村学園・野上と投げ合い、六回途中まで先発のマウンドを守った。試合は序盤、リードを許し苦しい展開。一対四で劣勢のまま九回表を迎えた。しかし、ここから奇跡の逆転劇が始まる。トップバッター北方がしぶとく中前に運び、死球、左前打で無死満塁。ここで一番

・前田が走者一掃の左中間三塁打を放ち同点にすると、続く二番代打園田の左前打で逆転した。その裏をリリーフの塚脇が抑え、二年ぶり十六回目の夏の甲子園出場を決めた。(甲子園の内容は次号にて)

ドライバーはマナー守って

校長・教頭会がボランティア清掃

校長・教頭会(会長「上嘉鉄小学校・登山典壽校長」)では七月十六日、町内循環県道



のボランティア清掃を行った。各小・中学校の校長、教頭と晴永清道教育長は朝七時から汗びっしょりになりながら約二時間、投げ捨てられた空き缶などを拾い集めた。

ボランティアの清掃作業は今年で四回目、過去には遊歩道の伐採作業も行った。今年は二十六人が参加し、軽トラツク一台分の空き缶やペットボトルを拾い集めた。

参加者からは「昨年よりもゴミが少なかった。町民のマナーが向上したかな」の声もあつたが、相変わらず投げ捨ては多く、なかにはビールや粉ミルクの空き缶まであつ

坂嶺の里安九郎さんは七月十三日、坂嶺漁港に体長一メートルほどのウミガメが上陸してい

カメさん

元気でね!

里安九郎さん坂嶺が

傷ついた海亀を手当て

るのを発見した。昼間のため産卵ではない。じっとして動かないので不審に思い近づい

てみると、尾をけがして傷口にはおびただしい寄生虫が付着していた。そこで鎌で寄生虫をそぎ落としたが、その途中でカメは海へと帰っていった。

驚いたのは翌日。前日のカメが再び現れ、砂利の上にごろごろ動こうとしない。改めて傷口を見ると、傷は尾の三分の一度にまで及んでいた。そこでカメを裏返しにし、傷口に薬をつけ、鎌で全ての

寄生虫を取り除いた。カメを元どおりおこすと、しばらくして海へと消えていった。

里さんは「浦島太郎じゃないがカメも喜んで海に帰ったのではないか」と不思議な体験に笑顔を見せ、「子どもたちにも動物愛護、自然保護のことを考えてほしい」と語った。里さんは坂嶺校区の自然保護監視員を務めている。ウミガメはそれ以後、姿を見せないという。

た。登山会長は「空き缶やペットボトルに交じってたばこのポイ捨ても多かった。ドライバーはルール、マナーを守って。道路がきれいになって心もすっきりした気分。きれいな町になってほしい」と話した。

た。里さんは坂嶺校区の自然保護監視員を務めている。ウミガメはそれ以後、姿を見せないという。



海底清掃とオニオコゼ駆除

今年発足のダイブチームKSDC

今年、オニオコゼに刺される被害が相次いだことから、ダイブチームKSDC（喜界シードラゴンクラブ・会長＝中野吉則）のメンバーら九人は七月三十一日、スギラビーチの海底清掃とオニオコゼの駆除を行った。約一時間半の作業で約十キのゴミとオニダルマオコゼ、オニオコゼ、オニヒトデ、ガンガゼなどを駆除した。

KSDCは今年結成されたスキューバダイビングクラブ。九州電力や鹿児島銀行、徳洲会病院に勤務する愛好者が多数あり、刺され、痛む。オニオコゼは、海中のゴミが、オニオコゼの背に刺さると激しく痛む。オニオコゼは、海中のゴミが、オニオコゼの背に刺さると激しく痛む。



作業には島のベテランダイバー植村満さんも協力。海の安全、自然保護を呼びかけた。



赤連集落、初回大会制す

軟式野球連盟発足30周年記念第一回集落対抗野球大会



結果は投打にバランスのとれた赤連集落が上嘉鉄東を下し、初代王者に輝いた。

決勝は赤連・笹山正樹、上嘉鉄東・富田道夫の投げ合いとなったが、四回表赤連は一死一、二塁のチャンスに武藤裕和が右中間を破る三塁打で二点を先制、主導権を握った。赤連は六回にも二点を追加。その裏、上嘉鉄東も一点を返すが、ここまで。チャンスを確実に点に結びつけた赤連が四対一で上嘉鉄東を下した。

喜界町軟式野球連盟発足三十周年記念集落対抗野球大会が七月十七・二十四の両日、総合グラウンドなどで行われ

大会には年代別で構成された十四チームが参加、二週にわたって熱戦を繰り広げた。

保健師だより

「来てうれしい、帰ってうれしい、まごの顔」

大人には長く、子供には短い夏休みも、もう終わりますね。おじいちゃん、おばあちゃんたちも、島内外の孫たちと、普段以上に楽しいときを過ごされたことと思います。お父さん、お母さんとは違う、おじいちゃん、おばあちゃんのやさしさは、子供たちにとって、大きな救いです。ただ、すこしく困ったこともあるようです。それは、「おやつの与え方」。

あるお母さんから「島の子供たちは、お菓子を食べ過ぎ！。周りの大人もお菓子与えすぎ！」とのご意見をいただきました。

考えよう「おやつとの与え方」

いったい何が？子供にとっても、大人にとっても、お菓子やジュースは魅力的ですね。そして、子供の喜ぶ顔は最高ですね。つい甘いお菓子やジュースのプレゼントが多くなってしまうか？もちろんこれは、おじいちゃん、おばあちゃんだけでなく、私たち大人みんなに言えることです。お菓子をあげることが悪いわけではありません。「おうちでおやつ」の時間に食べてね」と一言添えてください。しよつちゅう口の中にものが入っている状態は、むし歯をつくります。これは大人だって同じです。

物が豊かになると、その分人間は、選択する力を試されている気がします。子育ては親だけでするものではありません。島には伝えていきたいよい食習慣、伝統がたくさんあります。みんなで育てましょう、元気な喜界っこ！

サバニで喜界一周

77人が浜を乗り継ぐ



せ、三十五分後、荒木漁港に無事到着。一番手の大役を果たしたメンバーの表情からは安堵の色が見て取れた。

二番手も順調に船を走らせ、手久津久に到着。最高齢七十四歳の藤村新吉さんをリーダーとする平均年齢

六十二歳の上嘉鉄中壮年団に船をつないだ。順調に船を進めたが、中間点で速い潮流に

「見慣れた島を海から見てみよう」と喜界町青年連絡協議会（廣清太会長）は七月三十・三十一の両日、サバニ喜界島一周リレーを企画。職場や商工会、一般の七十七人が参加した。

初日はやや波があったものの、漁師の意見を参考に決行。神事を済ませて午前八時半、栄建設のメンバー八人がサバニに乗り込みスギラビーチを出発、荒木漁港を目指した。

ビーチ出口で船が大きく揺れ、舳先を白波が洗った。「おおー」、浜辺で見送る仲間が心配そうに見守る。通称タンニヤミと呼ばれる遊歩道の西側の難所では白波が立ち、船が時折波間に消えた。それでもハイペースで船を走ら

間を任された自衛隊は順調に船を走らせ午後六時、海水浴客や地元の人々に歓迎されながら小野津に到着した。

翌日午前九時、商工会青年部が小野津を出発。快晴、波穏やかで船は水面を滑るように進んだ。坂嶺、湾を乗り継ぎ正午過ぎ、再びサバニがスギラビーチに戻ってきた。浜では乗り継いで来た仲間たちが太鼓を叩いて出迎える。そして船は歓声とともに砂浜に

乗り上げ、待ちわびた仲間のビールのシャワーを浴びた。

廣会長は「フリムン（バカ）と思われる企画に大勢の人が協力してくれたことがうれしい。救助艇を申し出てくれた上地健二さん、船の修理、改良に協力してくれた中益一さん、西昭彦さん。多くの人に協力してもらい感謝している。ゆつくりと島を眺めることはできなかったかもしれないが、みんなで協力し、苦難をと乗り越え、船をつなぐことができた。それぞれが

いろいろな思いを抱いたのでないか。私は島の海が、島の空が好きだが、またまた、島の人が好きになった」と、多くの仲間感謝した。

顔

埋蔵文化財発掘調査員

野崎 拓司^{たかし}さん(23)



琉球大学の大学院生。専攻は考古学。同大学の池田榮史教授の勧めで今年四月、一年間大学を休学して発掘調査のため喜界島にやってきた。「昔の人々の生活を掘り起こし、喜界島の人々の元に返したい」と落着いた表情で語る。

出身は四国、高知県南国市。「考古学を学べるならどこへでも」と琉球大学へ進んだ。「昔の人々の生活を想像しながら、遺構や遺物を発掘する。それらを検証し、歴史の空白を埋めるのが楽しい」と考古学の魅力を語る。特に南西諸島に興味があり、教授から話が合ったときには迷わず喜界島行きを選択した。

今年三月に喜界島で開催

された「喜界島研究シンポジウム（古代・中世のキカイガシマ）」では喜界島の特殊性が相次いで指摘された。野崎調査員も「喜界島の遺跡は異質な感じがする。出土物は本土品が多く、沖縄と比べて質も違うし、割合も多い。小さな島に多くの遺物があり、中世にはよほど力のある人物がいたのではないかと。すごい島だ」とその点を指摘、「中世の南西諸島にはまだ謎が多い。この空白の時期を埋めることが歴史上重要」と今後の発掘調査に期待する。

彼とコンビを組む澄田直敏主査は「まじめで慎重、気が長い」と根気強さを強調。「彼がいないととてもできない事業量だけに、縁もゆかりもない島に来てくれて感謝している」と全幅の信頼を置いている。将来は教師が考古学に関わる仕事かという。連日の猛暑で真っ黒に日焼けした顔から白い歯をのぞかせ、今日も土を掘り続ける。

お知らせ

未来を担う優秀な人材を
郷土に残しましょう

6月20日から新規高等学校
卒業者を対象とした求人受理
が開始されました。

今月は奄美群島内13校で約
360人の就職希望者がお

り、うち60人が地元での就職
を希望しています。

昨年、卒業した学生の中に
は「奄美で就職を希望してい
たが応募の時点で地元の求人
はほとんどなかったため、仕
方なく県外事業所に応募し
た」という学生もたくさんい
ました。

厳しい経済情勢の中、雇用
の維持等に苦労されているこ
ともありますが、優秀な人材
を郷土に残すため「早期の求

人申し込み」にご理解とご協
力をお願いします。

求人の申し込みの時期は、
こんなにも差があるんです。
高校求人の平成16年10月末
の出現率（平成17年3月末
を100%とした数値）

県外事業所 91%
県内事業所 70%
名瀬管内事業所 11%
求人手続きは決して面倒
ではありません。まずはお電
話下さい。

1 八ローワーク名瀬学卒求人担
当 ☎0997(52)461

海の贈り物 ハチシヨウダカラガイ



礁池の潮間帯の岩礁にすむ大型のタカラガイで、特に大きな転石の下にすることが多い。背面には黒褐色の地に円形に近い淡褐色の斑紋が多数ある。沖縄では安産のお守りとして使用されている。4.7cm（『沖縄海中生物図鑑・貝』より）採取地=池治浜

喜界高等学校パソコン 基礎講座開設

講座名 生涯学習県民大学パ
ソコン基礎講座

場所 喜界高等学校
(コンピュータ室)

期間 平成17年9月26日(月)
〜平成17年10月19日(水)

・毎週月・水・金(週3
回・全10回)

時間 午後7〜9時(2時間)

対象 一般町民
定員 25人(受付順に受講者
を決定。定員に達し次第締
め切り)

内容 パソコンの基礎操作
(初心者向け)

(初心者向け)

申込み締切り 9月5日(月)
申込み先 喜界高等学校
☎65 0024(担当=塩屋)

10月1日は国勢調査です

今年5年に一度の国勢調
査が行われる年です。

統計法に基づいて行われる
国勢調査は、日本に住んでい
るすべての人が調査の対象と
なり、回答が義務づけられて
います。

今回の国勢調査は、少子高
齢化が進む中でわが国の人
口・世帯の最新の実態を明ら
かにし、国民生活の向上に幅
広く役立つ基礎的なデータを
提供する大切な調査です。

9月下旬から10月上旬にか
けて、国勢調査員が世帯に直
接お伺いして調査票の配布・
収集を行います。

国勢調査員をはじめとする
調査関係者には、守秘義務が
あり、調査内容の秘密は厳重
に保護されますので、安心し
て調査にご協力ください。

問い合わせ先
県庁統計課

☎099(286)2482
<http://www.pref.kagoshima.jp/home/tokeika/index.html>

少年の家出防止と 早期発見活動

県警では、平成17年5月末
現在、家出人として134
(男65、女69)人の少年の捜
索願を受理しています。少年
の家出の怖さは、家出中に非
行を犯したり、性犯罪などの
被害に遭ったりすることです。

このように非行や転落に直
結する家出を防止するために
は
子どもの日頃の生活に関心
を持つこと
親子の対話を心がけ、子ど
もの悩みに耳を傾けること
など、子どもへの気配りが大
切です。

警察では、家出は子どもた
ちの「分かってほしい、助け
てほしい」という信号である
と受け止め、家出少年が非行
を犯したり、被害に遭う前に
早期に発見する活動を全力で
行っています。

子どもに関する悩みごと、
困りごと等一人で悩まず、
下記まで気軽に相談くだ
さい。

鹿児島県警少年サポートセン
ター ☎099(252)78
67

喜界幹部派出所から

携帯電話やパソコンが普及して気軽にインターネット等に接続できるようになりましたが、便利な反面

- ・ 出会い系サイトにアクセスしたら「無料」と書いてあったのにびつくりするような料金を請求された
- ・ 身に覚えのないアダルトサイトからの請求書がきたので調べてみたら、中学生の子どもが隠れて利用していたことが分かった

等々、出会い系や成人サイトに関係するトラブルが数多く発生しています。

このようなトラブルから自分を守るための基本的なルールは

- ・ 出会い系サイトには絶対に接続しないこと
- ・ 個人情報を入力しないこと
- ・ 安易に返信しないこと
- ・ ネットで知り合った人には安易にあわないこと

ですが、パソコンや携帯電話からアダルトサイトにつながらないようにするための方法を紹介します。

・ 電話料金の通話料の上限額を設定する。(あらかじめ

設定しておいた通話料に達すると発信をストップする)

- ・ 携帯電話のメニューサイト以外のサイトへのアクセスを制限する。(例：NTTドコモの「キッズ・iモード」)
- ・ パソコンのインターネットで特定のジャンル(性的内容・暴力表現等)のサイトを表示できないような機能を設定したり、ブロックするためのサービスを受ける。(例：「親子ネット」月額300円が必要)

- ・ 有害ダイヤル、ダイヤルQ2のオープンジャンルをつなげるように利用規制を受ける。(窓口「116」または、ダイヤルQ2ホットライン「0120 409 901」ダイヤルQ2ホームページ「<http://www.nt-west.co.jp/q2/>」)
- ・ 「国際電話不取扱い受付センター」に利用休止を申し込む(加入電話 窓口「0120 210364」)

等があります。なお詳しいことは、それぞれの電話会社やプロバイダー等に問い合わせてください。

悪質商法「今度はあなたがカモになるかも…」

・ 点検商法 点検し、危険と

不安をおおって、契約を急がせる。(床下換気扇、除湿剤、浄水器)

- ・ 睡眠商法(SF商法) 「無料プレゼント」につられて、買ってしまった。
- ・ 空き店舗での健康講座商法 体調がよくなると言われて買ったが…

- ・ 紳士録商法 一方的に掲載したと言いつ、代金を請求してくる。
- ・ 資格商法二次被害(電話勧誘) 過去に受けた資格講座は終了しているはずなのに…
- ・ 家庭教師付き教材販売 家庭教師の契約だと思っていたら…

・ 内職商法 「在宅で簡単に高収入」と言っていたのに仕事がこない。

事例で紹介した以外にも、悪質な事業者は様々な手口で生活者に迫ってきます。一番良い解決策は、事業者の巧妙なセールストークに気づかず、遠慮なくきっぱり断ることです。

しかし、事業者の悪質な手口で消費者が判断を誤って契約をしてしまった場合は、その契約を取り消せる民事ルールが、平成16年11月11日から強化されました。

昭和43年のフニーカー競漕



あの日あの日

昭和43年の湾の入り江。現在の喜界幹部派出所前から望む。防波堤や道路は大勢の観客で埋め尽くされ、祭りの賑やかさが伝わってくる。やぐらはいったってシンプルで横断幕には「納涼大会場」の文字が見える。背景に見える建物の多くは、今では姿を消した。湾の入り江は昭和50年代中ごろから埋め立てが始まり、美しい入り江は姿を消した。

消費者救済のための民事ルール

事業者が商品の性能など重要な事実を言わなかったり、嘘を言ったことで、消費者が誤って契約をした場合は、クーリング・オフ期間に関係なくその契約を取り消すことができます。事業者が嘘を言ったり、おどしたりして、クーリング・オフを妨害し、それにより誤解したり、怖くなって、クーリング・オフできなかった場合は、期間が過ぎててもクーリング・オフすることができます。

島の食材で クツキンゲ

ラッキョウ

ラッキョウといえば夏バテ防止には欠かせない食べ物です。今の時期、甘酢漬けを召し上がっているご家庭も多いのではないのでしょうか。ニンニクや葱類と同じ辛味成分が血行を良くし、食欲増進、疲労回復に効果があります。出回りの時期を過ぎましたが、生のラッキョウを使った料理を紹介します。

ラッキョウ入りかき揚げ

(8個分)

分量 ラッキョウ100g・青ジソ5枚・人参50g・衣(卵1個・薄力粉40g・塩少々)
揚げ油



作り方 衣以外の材料はすべて細切りにする。衣の材料を合わせる。に入れてサツクリませ、食べやすい大きさにまとめながら熱した油で揚げる。

ラッキョウの炒め物

(約4人分)



分量 ラッキョウ200g・人参30g・ツナ缶(小)1缶・削り節2パック・しょうゆ大さじ1・2・油大さじ1

作り方 ラッキョウ、人参は細切りにする。フライパンに油を熱し、を入れて炒める。ツナ缶を加えてさらに炒めたら、しょうゆで味付けし、最後に削り節を入れる。

(調理・食生活改善推進員

分量は参考までの値です。

ご家庭の味に加減してお楽しみ下さい)

保健センター栄養士

平成17年度 自衛官等募集案内

募集種目	資格	受付期間	試験期日	募集人員	合格発表
防衛大学校 学 生	高卒(見込含) 21歳未満の者	9月5日～ 9月7日	9月24・25日	人文・社会科学専攻 約20名 (うち女子約5名) 理工学専攻 約80名 (うち女子約5名)	11月10日
	高卒(見込含) 21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)	9月9日～ 9月30日	1次11月12・13日 2次12月13～16日	人文・社会科学専攻 約65名 (うち女子約5名) 理工学専攻 約295名 (うち女子約20名)	1次 12月7日 最終18年2月16日
防衛医科 大学校学生	高卒(見込含) 21歳未満の者	9月9日～ 9月30日	1次11月5・6日 2次12月7～9日	約75名	1次 11月29日 最終18年2月16日
看護学生	高卒(見込含) 24歳未満の者	9月9日～ 9月30日	1次10月16日 2次11月18・19日	陸 約70名	1次 11月1日 最終18年1月11日

※詳細につきましては、

役場総務課(☎65-1111)または、自衛隊鹿児島地方連絡部大島事務所(☎53-9103)までお問い合わせ下さい。

郷土と自らに誇りをもつ 教育の実践を目指して ～新教育長が所信を述べる～

第2回 定例議会

喜界町教育委員会は、四月

一日に晴永清道教育長が就任し、本町の教育課題解決のために、郷土の教育的な伝統や風土を生かした全人教育・生涯学習を推進しているところです。

先日行われた第二回定例議会において、教育長が本町教育に対する所信を述べましたのでご紹介します。ぜひ一読され、皆様の本町教育に対するご理解とご協力をお願いします。



晴永清道教育長

振興を図ります。

子どもが将来自分の能力や個性を発揮するための基盤となる『学力向上』に努めます。

そのための第一として、教職員の資質向上やる気づくり

島外で学ぶ子どもスポーツ大使



所信を受けて、町教育委員会は、学校教育と社会教育それぞれに本年度の重点努力目標を設定し、諸施策を実践しているところです。すでに始まっている施策をいくつか紹介します。

家庭学習

六〇・九〇運動

小学生最低六十分、中学生最低九十分の家庭学習時間の確保を目指して、町内の全

を推進します。

第二として、効率的・効果的な教育を展開するための施設設備の充実を図ります。

第三として、学校のみならず教育から脱却、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。



小学校での道徳授業の様子

小・中学校が家庭との連携を図って実践しています。

子どもの体力向上

実践事業

平成十六年度から三年間、文部科学省の委嘱を受け、小学生を対象に望ましい運動習慣や生活習慣の確立を目指して実践しています。

庭・地域が一体となった教育を推進します。

この実現のための諸施策を確実に実行し、その成果を『子どもの姿』で皆さんに説明できるようにします。

豊かな心の育成を目指して、学校における道徳授業の工夫やボランティア活動の実践など、道徳教育を大切にしています。

心の教育の充実

豊かな心の育成を目指して、学校における道徳授業の工夫やボランティア活動の実践など、道徳教育を大切にしています。

中高一貫教育の充実

中高一貫教育も実施から年数を重ね、生徒指導や文化・スポーツ活動、学力面で成果をあげつつあります。

これらの教育実践の積み重ねが、子どもに「生きる力」を定着させていきます。今の子どもたちがやがて喜界島を離れて生きていく場合でも、島に残って生活していく場合でも、豊かな人生を歩んでほしいと願っています。その原動力として、『郷土と自分に誇りをもつこと』が大切であると考えています。

子どもたちの将来のために、わたしたち大人が、郷土のよさや子どもたちのがんばりをしっかりと見つめて、ともに教育を推進していく家庭・地域をつくっていくようご協力をお願いします。

所信要旨

奄美は人材の島と言われってきました。島興し・町づくりは人づくりからという考えのもと、さらなる教育

わが家のアイドル



たけやま かなで
竹山 奏ちゃん(3歳)

父=勉 母=志乃 湾

ペットのクルとは大の仲よし。音楽が好きな奏は、歌って踊って、いつも私達を笑顔にしてくれます。明るくて思いやりのある、そして何事にも一生懸命に取り組む子に成長してほしいと願っています。



吾が嫁が丹精込めし裏庭の紫陽花に降る六月の雨

向井 トキ

夏木立入道雲を押し上げて空一面に清風えがく

北島 シナ

乾きいる南の島に水無月の空より賜うたつぷりの雨

有村 道子

梅雨しげく日々続きいてみなづきの暦めぐりつ古い先を追う

竹田ヨシ子

六月の庭の灯籠苔むして老いしわれにも力を与う

平尾 チヨ

水無月に生れし我の八十年晴よりもなお雨多かりき

屋良ミノ子

光降る六月二十三日忘れまじ沖繩の友修羅場をくぐる

美代 イシ

水無月の菖蒲の花に木漏れ日の光りてやおら風に揺れる

郡 市子

黒潮の打ち寄す島の岩礁には夏陽を避けて生物轟く

弥島 幸子

若夏の青葉明かりの庭に出て素足で立てば芝生はたのし

林 蓮香

諾えぬ事ふつつと湧く宵の葉月の初旬明け初めにけり

嶺倉 祝子

ちぎり絵の凌霄花の朱をさがし和紙ひろげゆく永き時かけ

武田 幸子

戸籍の窓

7月届出

こんにちは
赤ちゃん

氏名 保護者 住所

東園 琴花 真琴 志戸桶

岡本 翼 俊光 荒木

廣岡 梨音 朱梨 伊砂

美島 龍真 敬秀 佐手久

澄田 駿太 直敏 中里

ごめい福を
お祈りします

中 熊加納 マツ 90才

8月30日～9月5日は

防災週間

わが国は、自然的条件から、地震や台風、豪雨、火山噴火などによる災害が発生しやすい、毎年全国各地で災害による被害が発生しています。災害の未然防止と被害の軽減を図るには、ふだんから災害に対する備えを充実・強化するとともに、災害時に迅速・適切な防災活動を展開することが重要です。週間は、防災に対する知識を普及するため、さまざまなイベントを全国各地で行い、備えの充実強化を呼びかけます。

・関連ホームページ…内閣府「防災情報のページ」

社協だより

香典返し

早手町	杉山 トキ	87才
佐手久	森 新吉	51才
湾	久保テイ子	89才
赤連	赤崎 チヨ	98才
赤連	龍田マスエ	86才
赤連	英 ヨシ	86才
手久津久	中間きよみ	53才
湾	佐久田フデ	84才

赤連	牧岡 俊仁
中野熊	加納 邑雄
小野津	赤崎 季義
荒木	益田 親雄

(鹿兒島市在住)

……喜界町の推計人口……

(平成17年7月31日現在)

世帯数	3,812戸	(- 6)
人口	8,547人	(- 9)
男	3,971人	(+ 3)
女	4,576人	(- 12)

()は前月比



自衛隊A



まつりの華に 47チーム



混成の部決勝

一般の部優勝の
くろちゆうA



混成優勝の生和糖業



女子優勝のママさんバレー



選手宣誓
(左 = 富田、右 = 平松)



女子の部決勝



一般の部決勝



女子優勝決まる



女子の部第一組

